

One Planet Study Tour

視察ツアー in アフリカ・ザンビア

～SDGs、バナナペーパー、ソーシャルビジネス、野生動物～



日程: 2023年4月9日(日)～4月15日(土) 6泊7日 現地集合・解散
参加費: 大人お一人様385,000円(現地料金・2名様1室利用)

共催: 株式会社ワンプラネット・カフェ 丸吉日新堂印刷株式会社
手配: さっぽろトラベル 北海道知事登録旅行業第2種769号



本プログラムは、世界フェアトレード認証取得企業の株式会社ワンプラネット・カフェが企画・運営します。



プログラム

日にち	場所	内容
4月9日 (日)	日本 → ザンビア 首都ルサカ	各自にてザンビアへ ザンビアの首都ルサカ空港 集合 ※集合時間 15:00 ルサカ空港の到着出口 お勧めのルート: エミレーツ航空、エチオピア航空 (東京-ドバイ-ルサカ) ORIENTATION オリエンテーション アフリカとザンビアについてのレクチャー。施設案内と野生動物に関する説明・留意事項 ●ルサカ泊: アフリカデザインのホテル
4月10日 (月)	ルサカ → エンフエ	SUSTAINABLE DEVELOPMENT 途上国の都市の発展 アフリカの経済は早いスピードで発展しています。首都ルサカの一部も「先進都市」になっています。都市での貧困と発展の両側面を紹介しします。その後、在ザンビア日本大使館 (またはJICAザンビア事務所) 訪問予定。アフリカにおける日本の役割や期待とは? 夕方 サウスルアングワ国立公園のあるエンフウェ村へ移動 (飛行機で約1時間) ●エンフウェ泊: 大自然に囲まれたロッジ
4月11日 (火)	エンフエ	SAFARI モーニングサファリ・生物多様性スタディー 世界初のサステナブル国立公園として認められたサウスルアングワ国立公園でのサファリ。動物の行動が活発な明け方から、オープンサファリカーで約4時間の見学。野生動物、ワイルドライフをはじめ、環境循環、生物多様性の価値、自然界のイノベーションなどについて紹介しします。 自由行動 敷地内からの大自然の眺めを楽しみながら、ゆっくりとしたアフリカの時間をお楽しみください。ラッキーならホテル敷地内で野生動物に出会えます。 VILLAGE 村・家庭訪問 わら屋根や粘土でできた典型的なアフリカの村を訪問。村の人々の日常の暮らしを見学しします。電気や水道のない生活、子どもたちの教育の現状などSDGsのリアルな課題とこれからの可能性について紹介しします。 ●エンフウェ泊: 大自然に囲まれたロッジ
4月12日 (水)	エンフエ	WILDLIFE CONSERVATION 野生動物保護団体の訪問 アフリカ大陸では生物多様性や野生動物(サイ、ライオン、ヒョウなど)が減少しています。1980年代、最後のサイがサウスルアングワ国立公園から消えました。国立公園の野生動物の現状は? 絶滅危惧種と私たちのつながりや可能性などについて、専門家に話を伺います。 ORGANIC FARMING オーガニックバナナ農家の訪問 バナナペーパーで取引をしている有機栽培のバナナ農家、バナナ畑を訪問し交流を行います。オーガニックバナナ栽培、植林(植バナナ)や試食などを体験しします。 BANANA PAPER バナナペーパー工場訪問① ザンビア-日本のプロジェクトであるフェアトレード紙バナナペーパーのグリーン工場を見学。バナナペーパーの原料であるバナナ繊維取りや手すきの紙づくりの見学、工場での環境取り組み、バナナチームメンバーとの交流を行います。 ●エンフウェ泊: 大自然に囲まれたロッジ
4月13日 (木)	エンフエ	FREE TIME 自由行動 ロッジでゆっくりお過ごしください。オプション(有料): 小学校の訪問 - 子どもや先生たちと交流、授業見学。モーニングサファリ (英語のガイド/現地で決定・手配できます) FAIR TRADE フェアトレード会社(布・アートデザイン)見学・体験 貧困と環境問題を解決するためにフェアトレード事業を展開するテキスタイル会社を訪問。繁忙期には、村で100人の雇用を生み出すこともあります。商品は、国内外で販売されています。見学後は「アートサファリ」でハンドペイントを体験しましょう。 SAFARI ナイト・サファリ 夜行性動物が動き出す夕方からのサファリです。アフリカの夕日、大自然、野生動物を楽しみます。 ●エンフウェ泊: 大自然に囲まれたロッジ
4月14日 (金)	エンフエ	BANANA PAPER バナナペーパー工場訪問 ② バナナチームとの交流やアイデア交換を行います。 WORKSHOP ワークショップ 大自然に囲まれた施設で、サステナビリティ、SDGsの実現にむけて、私たちの暮らしや事業でできること、ソーシャルビジネスやパートナーシップの可能性などについてのワークショップを実施しします。 夕方 ◆ AFRICAN SUNSET アフリカの夕日とソーシャルビジネス訪問。俳優のディカプリオ氏や政治家のクリントン氏も支援する野生動物保護のアクセサリビジネスの訪問。その後、川沿いでアフリカの夕日を楽しみましょう。 ●エンフウェ泊: 大自然に囲まれたロッジ
4月15日 (土)	エンフエ → ルサカ 日本へ	午前 FREE TIME 自由行動 オプション (有料): モーニングサファリ 午後 首都ルサカへ移動。その後、日本へ各自にてご移動 ※オプション: 復路にて、ドバイ視察1~2日追加も可能

* 旅行代金の一部は、現地の村の人々の自立支援や動物保護の活動支援に寄付させていただきます。
** 上記のプログラムやテーマ、内容、順番は変更する場合があります。FORCE MAJEUR (天災などによる) 不可抗力な事由により旅行の内容 (テーマの順番・プログラムの内容・時刻表など) を変更する場合があります。ご了承下さい。

Goal 本視察ツアーの目的

アフリカの野生動物を見たい、人や暮らしに興味がある、社会貢献やフェアトレードを知りたい、エシカルビジネスを展開したいなど、アフリカの今について学ぶことや新しいビジネス（ソーシャルビジネス）の可能性を探することはこのプログラムの目的の一つです。

2030年にむけた持続可能な開発目標(SDGs)の取り組みが世界中で加速しています。アフリカの素晴らしい生物多様性を守りつつ、SDGsの目標1「貧困をゼロに」を達成すること、持続可能な発展の道筋を見つけていくことは、アフリカの人々にとってだけでなく、私たち人類としての大切な課題とも言えます。

村の人々との直接の交流を通じて、日常生活、貧困、現場の状況を知るとともに、フェアトレードや社会起業、事業を通じた取り組みの価値をより深く実感することができます。日本との協働による、持続可能な発展に向けたビジネスや活動のヒント、アイデアを一緒に見つけましょう。

本視察ツアーの旅行代金の一部は、現地の野生動物・生物多様性保護、村の人々（特に女性）の自立支援に活用されます。

About Zambia ザンビアについて

ザンビアは、南部アフリカに位置し、8ヶ国との国境を持つ国です。人口は約1,900万人（'21.世銀）、面積は日本の約2倍、首都はルサカ(Lusaka)です。言語は、公用語である英語の他に70以上の部族語があります。主な部族語はニャンジャ語とベンバ語です。ザンビアはイギリスから独立以来(1964年)、一度も戦争・内戦をしていない平和な国です。大統領は民主主義的に選挙で選ばれます。主な産業は、銅(日本の10円玉の一部はザンビアの銅)などの鉱物資源、農業、観光産業などです。美しい野生動物とビクトリアの滝が有名です。一方アフリカの中でも最も貧しい国の一つであり、エイズやマラリアといった病気や、十分な食べ物やきれいな水が手に入らない人々が多いという厳しい現実もあります。内戦がなかったことや、国やNGOなどによる動物保護のおかげで素晴らしい大自然が残っており、アフリカの中でも「リアルアフリカ」と呼ばれています。

Guide 案内・通訳



Peo Ekberg ペオ・エクベリ

スウェーデン出身、在日28年以上。(株)ワンプラネット・カフェ取締役、サステナビリティ・プロデューサー。NGO環境団体のリーダー、ジャーナリストを経て、現職。

サステナビリティ関連の視察ツアー企画・運営では、20年を超える実績をもつ。SDGs、サステナビリティに関する講演、テレビやラジオの環境番組でコメンテーターなどを行う。

'08年、イギリスBBCのWebページ Heroで、アル・ゴア元アメリカ副大統領らと並び環境リーダーの一人として紹介される。

'11年One Planet Caféザンビアのチームと共にバナナペーパープロジェクトをスタート。アフリカのバナナ繊維と日本の和紙技術との融合により、日本初のフェアトレード認証紙・クライメートポジティブ紙のバナナペーパーを開発。

武蔵野大学非常勤講師(5年間)。ワンプラネット・ペーパー協議会会長 著書：エコライフのガイドブック「うちエコ入門」('07年、宝島社、第3版)。15才と19才の時にサッカーのリフティングで世界記録を更新。



Satoko Ekberg エクベリ聡子

日本出身。(株)ワンプラネット・カフェ代表取締役

サステナブルビジネスの開発支援、サステナビリティ教育、CSR（企業の社会的責任）やビジネスを通じた途上国の課題を解決するソーシャルビジネス開発のコンサルティングに長年従事。日本・スウェーデン・ザンビアでの事業経験を踏まえ、SDGs、サステナビリティの事業支援、研修、視察ツアー企画・運営を行う。'22年11月に金沢大学のエグゼクティブ・コーディネーターに就任。

2007年秋にザンビアで大人の学び場「One Planet Caféザンビア」を設立。ザンビアのバナナペーパー事業では、クラウドファンディングの資金集めから、日本大使館のファンドまで幅広い支援を得ながら、現地に環境&コミュニティ共生型グリーン工場を建設。

One Planet Café ザンビア共同設立者、ワンプラネット・ペーパー協議会副会長、金沢大学エグゼクティブ・コーディネーター('22.11-)、東北大学大学院環境科学研究科非常勤講師('05-'15)、株式会社イースクエア取締役('02年-'15年)、著書「うちエコ入門」(共著、宝島社)、「地球が教える奇跡の技術」(石田秀輝著、執筆協力)、エシカル白書2022-2023(一般社団法人エシカル協会著、執筆協力)



Flow お申し込み・今後の流れについて

STEP 1. Googleフォーム「申込書・参加同意書」（右のQRコードまたは <https://forms.gle/nZMbYyKADb6dft8X8> からアクセス）をご記入下さい。Googleフォームがご利用できない方は、info@oneplanetcafe.com までご連絡ください。



お申し込み締め切りは 2023年2月6日(月) です。※締切日当日までは料金は一切かかりません。

STEP 2. お申し込みが10名様以上の場合、ツアー催行を決定します。催行決定後、ご請求書を送りさせていただきますので、申込金50,000円/人のお振込をお願いします。※申込金は全体の現地料金に含まれます。

STEP 3. その後、残りの現地料金のお振り込みをお願いします。※合計金額から、申込金の50,000円を差し引いた金額です。その後、旅についての具体的な情報、ホテルの連絡先、パンフレットなどをお送りします。

STEP 4. 出発前に、オンライン（Zoom）で事前説明会を行います。

STEP 5. ザンビアでの視察ツアー、スタートです！

Conditions 旅行条件

本プログラムは、ザンビア現地開催の視察プログラムです（現地集合・解散）。

ザンビア国内の航空券および宿泊の手配は、さっぽろトラベル（北海道知事登録旅行業第2種769号）が行います。さっぽろトラベルでは、海外航空券（日本～ザンビア）、海外旅行保険の手配も承りますのでお申し付けください。

- 期間 2023年4月9日（日）～ 4月15日（土） 6泊7日 現地集合・解散
- 訪問地 エンフウェ（ザンビア東部州、サウスラングア国立公園）、ルサカ（ザンビア首都）
- 宿泊施設 エンフウェ：サウスラングア国立公園付近のロッジ、ルサカ：アフリカスタイルのホテル（3つ星以上）
- 食事 朝食6回、昼食0回、夕食0回（機内食は除く）
- 言語 英語と日本語通訳あり
- 旅行費用 大人お一人様385,000円（2名様1室利用）
※日本発着の航空券費用は含まれておりません。別途さっぽろトラベルまでお問合せ下さい。
■お一人様部屋利用追加代：60,000円
- 申込締切 2023年2月6日(月) 最低催行人数 10名様
- 取消料 お申込み後、2月7日から次のキャンセル料金がかかります。
2月7日から2月13日まで: 50,000円 2月14日から4月5日まで: 現地料金の50%
4月6日から4月8日まで: 現地料金の90% プログラム開始後: 現地料金の100%

● 旅行代金に含まれるもの

視察料金（各施設の見学、訪問、研修等）、サファリ（2回）、通訳/ガイド、宿泊6泊（2名様1室利用、朝食付）、現地での国内移動費用（見学先・空港からホテルへの公共交通機関での移動費用、ザンビア国内線代金）、資料

● 料金に含まれないもの

日本～ザンビアの往復航空券、海外旅行保険、昼食・夕食、自宅～国内空港への移動費（往復）、マラリア予防薬などの薬や予防接種、観光ビザ（\$50 / 入国時に支払い。※2022年12月時点の情報）、PCR検査費（下記留意事項の条件に該当の場合）、お一人部屋利用ご希望の場合の一人部屋追加費用60,000円

● その他 復路にてドバイ視察1～2日追加（別途料金）も可能です。詳しくは、さっぽろトラベルまでお問合せ下さい。

● 留意事項

新型コロナウイルス感染症対策については、各関係機関・旅行会社等にも対策を依頼し、安全に実施できるよう計画をしておりますが、各位におかれましても以下の点にご留意の上、別紙申込書の参加同意欄にご記入をお願いいたします。

- 日本ならびに渡航先の各関係機関、航空会社等の指示に従い、出入国・現地滞在に必要な条件を満たすこと*
- 旅行実施前後の、本人および同居家族への健康観察
- 渡航先における感染予防へのご協力（旅行中の手洗い、咳エチケット、状況に応じマスク着用 等）
- 出発前に発熱・感染疑いの症状がある場合や保健所による指示があった場合は参加を取りやめる
- 万一プログラム実施中に感染した場合は、渡航先の各関係機関、航空会社等の指示に従う

*出入国の条件（'22年12月20日現在）ザンビア入国：ワクチン接種証明書（2回）またはPCR検査による陰性証明（出国前72時間以内のもの）のいずれかを提出 日本帰国：ワクチン接種証明書（3回）またはPCR検査による陰性証明書（同上）のいずれかを提出

注）各国の入国条件や検疫措置は日々状況が更新されています。最新情報は必ず事前にご確認ください。

ご参加者の声

"単なる観光旅行としてではなく、ザンビアを訪れることができたことは一生の宝物となりました。先進国に暮らしては見えてこないこと、アフリカが抱える問題を自分の目で見て、肌で感じ、生きるということの原点に帰れたように思います。ザンビアの子供たちの屈託のない笑顔、純粋なザンビア人そして大自然、全てが新鮮な驚きとして感じられました。" (会社経営者)

"バナナ畑やバナナ繊維の作業を見学し、体験までさせてもらいました。サファリはもちろんのこと、夕日をながめたり、伝統料理を食べたり。そして、様々な環境問題やモラルの問題について、学びの機会がありました。シンプルな社会から見えてくる、自分を含む世界の色々なこと。毎日頭をフル回転させながらの1週間は、とても貴重な、宝物のような時間でした。" (会社員)

"初めての海外旅行でザンビアへ…いままで感じることもなかった発見、体験、心情に溢れ毎日が充実していました。村に着いた途端「カバ」がお出迎え！オーガニック農業の見学や、フェアトレードのワークショップは、村の人びとがいきいきと働き環境のことも考えて生産をしている姿に胸をうたれました。就職のことも、今まで漠然としていたことが一気に広がってビジョンが開けた気がしました。教育、労働のありがたみを改めて考えることが出来たことにも、このツアーに感謝をしています。" (大学生)

旅行手配

さっぽろトラベル 担当：森本恵美

〒062-0020 北海道札幌市豊平区月寒中央通2丁目3-1第二北陽ビル1階

TEL: 011-858-9501 e-mail: morimoto@manzokutabi.jp

【お問合せ窓口】 視察プログラム企画・運営

株式会社ワンプラネット・カフェ 担当：永江早紀

〒105-6923 東京都港区虎ノ門4丁目1-1 東京ワールドゲート 23F

TEL: 03-5776-6228 e-mail: hello@oneplanetcafe.com